



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6460 URL http://www.segasammy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 里見 治
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 清水 俊一 (TEL) 03-6215-9955
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	162,209	18.8	12,398	57.1	14,266	95.6	11,348	192.9
25年3月期第2四半期	136,583	△10.5	7,892	△48.0	7,295	△50.4	3,874	△2.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 28,687百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △718百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	46.76	46.38
25年3月期第2四半期	15.74	15.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	529,654	345,094	64.3
25年3月期	528,504	320,034	59.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 340,678百万円 25年3月期 315,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	485,000	50.9	73,000	282.7	72,000	244.3	47,000	40.5	194.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社セガサミー釜山、除外 1社 (社名) セガサミーリゾート
有限責任事業組合

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	266,229,476株	25年3月期	266,229,476株
26年3月期2Q	23,217,515株	25年3月期	24,169,675株
26年3月期2Q	242,681,907株	25年3月期2Q	246,197,354株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成25年11月5日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容 (映像並びに音声) については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	152,602	136,583	162,209	25,625	18.8
営業利益	15,181	7,892	12,398	4,505	57.1
経常利益	14,716	7,295	14,266	6,970	95.6
四半期純利益	3,980	3,874	11,348	7,473	192.9
	円	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	15.79	15.74	46.76	31.02	197.1

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権が打ち出した経済政策の効果などを背景に、円安、株高の傾向となり、デフレ脱却と景気回復への期待感が高まったものの、来年4月に実施される消費税増税による景気低迷の懸念から依然として不透明な状況となりました。

このような状況の中、遊技機業界におきましては、パチンコホール運営者における機械選別が進んでいることから、一部の主力製品に受注が集中する傾向にあり、パチスロ遊技機における新台入替は引き続き堅調に推移しているものの、パチンコ遊技機の新台入替はやや低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、エンドユーザーに支持される機械の開発、供給が求められております。

アミューズメント業界におきましては、スマートフォンをはじめとした遊びの多様化並びに市場を牽引する大型タイトルの不在により、市場が低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、多様化する顧客ニーズに応じた、斬新なゲーム機の開発、供給などが期待されています。

家庭用ゲーム業界におきましては、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やスマートフォン向けなどのデジタルゲーム市場における需要が拡大する一方で、パッケージゲーム市場においては低調に推移しております。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,622億9百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は123億98百万円(前年同期比57.1%増)、経常利益は142億66百万円(前年同期比95.6%増)となり、固定資産売却益など特別利益を38億34百万円、デジタルゲームの一部タイトルにおける不具合対応費用など特別損失を6億9百万円計上した結果、四半期純利益は113億48百万円(前年同期比192.9%増)となりました。

なお、平成25年9月18日に公表のとおり、当社子会社である株式会社セガが100%出資して新設した子会社において、株式会社インデックスの事業譲受に関する契約の締結を行い、裁判所の認可を受け、平成25年11月1日に事業譲受を行っております。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《遊技機事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	74,851	54,375	71,240	—	—
セグメント間売上高	67	269	97	—	—
売上高合計	74,918	54,644	71,338	16,693	30.5
営業利益	20,631	10,406	15,176	4,769	45.8
	台	台	台	台	%
パチスロ販売台数	52,769	108,604	143,171	34,567	31.8
パチンコ販売台数	181,589	57,749	54,955	△2,794	△4.8

パチスロ遊技機におきましては、当第2四半期において銀座ブランド『回胴黙示録カイジ3』を販売した結果、パチスロ遊技機全体では、前年同期実績を上回る143千台の販売となりました。パチンコ遊技機におきましては、当第2四半期においてサミーブランド『ぱちんこCRルーキーズ』やタイヨーエレクトリックブランド『CR秘密戦隊ゴレンジャー』を販売し、概ね堅調に推移しましたが、政策的に一部製品の販売スケジュールを下期へ見直した結果、前年同期実績を下回る54千台の販売となりました。

以上の結果、売上高は713億38百万円（前年同期比30.5%増）、営業利益は151億76百万円（前年同期比45.8%増）となりました。

当第2四半期に販売を開始した遊技機の主要販売機種名及び販売台数

パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
回胴黙示録カイジ3	(銀座)	25千台

パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
ぱちんこCRルーキーズ	(サミー)	12千台
CR秘密戦隊ゴレンジャー	(タイヨーエレクトリック)	5千台

《アミューズメント機器事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	19,339	18,741	18,025	—	—
セグメント間売上高	1,251	1,137	1,850	—	—
売上高合計	20,591	19,879	19,875	△3	△0.0
営業利益	1,591	895	△8	△903	—

アミューズメント機器事業におきましては、新規レベニューシェアタイトル『CODE OF JOKER』を販売したほか、『StarHorse3 Season II BLAZE OF GLORY』におけるCVTキット等の販売やレベニューシェアタイトルによる配分収益が堅調に推移いたしました。当期主力タイトルの投入が下期に計画されていることにより、売上高は198億75百万円（前年同期比0.0%減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業利益8億95百万円）となりました。

アミューズメント機器の主要販売タイトル名及び販売実績

タイトル名		販売実績
CODE OF JOKER	ビデオゲーム	22億円
「StarHorse3」シリーズ	メダルゲーム	9億円
「ボーダーブレイク」シリーズ	ビデオゲーム	8億円

※販売実績は、CVTキット等の販売やレベニューシェアタイトルによる配分収益等を含んでおります。

《アミューズメント施設事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	23,247	21,712	21,963	—	—
セグメント間売上高	0	0	8	—	—
売上高合計	23,247	21,713	21,971	258	1.2
営業利益	1,684	822	273	△549	△66.8
	店舗	店舗	店舗	店舗	%
国内アミューズメント施設数	248	238	202	△36	—
(参考)	%	%	%		
国内既存店舗売上高前年同期比	101.2	93.8	95.0	—	—

アミューズメント施設事業におきましては、前期に引き続き既存店舗の運営力強化を行いました。業界を牽引するタイトルの不在により、国内既存店舗の売上高は、前年同期比95.0%と低調に推移いたしました。

国内においては、当第2四半期に1店舗の閉店を行い、一方で新規出店を2店舗行った結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は202店舗となりました。

なお、当期より店舗数につきましては、国内アミューズメント施設（ゲームセンター）の直営店舗のみを対象としております。

また、平成25年8月19日に株式会社セガとBBC Worldwide Limitedが提携し、「自然」をテーマにした体験型エンタテインメントパーク『Orbi Yokohama(オービィ横浜)』をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は219億71百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は2億73百万円（前年同期比66.8%減）となりました。

《コンシューマ事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	33,485	35,395	43,843	—	—
セグメント間売上高	324	306	251	—	—
売上高合計	33,810	35,702	44,095	8,392	23.5
営業利益	△6,004	△780	1,118	1,898	—
	万本	万本	万本	万本	%
ゲームソフト販売本数	484	276	323	46	16.9

コンシューマ事業におきましては、パッケージゲーム分野において、『Total War: ROME II』などの販売を行い、概ね堅調に推移した結果、パッケージ販売本数は、米国130万本、欧州152万本、日本40万本、合計323万本となり、前年同期実績を上回りました。

携帯電話・スマートフォン・PCダウンロード等のデジタルゲーム分野におきましては、オンラインRPG『ファンタシースターオンライン2』の登録ID数が平成25年8月19日に累計300万を突破するなど、引き続き好調に推移しております。スマートフォン向けタイトルにおいては『チェインクロニクル』が、平成25年9月18日に80万ダウンロードを突破するなど、引き続き好調に推移しております。

また、携帯電話・PC向けパチンコ・パチスロゲームサイトにおいては、スマートフォン対応版『777townSP』及びDeNA向け『モバ7』の取り組みを強化しております。

玩具販売事業におきましては、『ジュエルポッドダイヤモンドプレミアム』などの主力製品の販売が堅調に推移いたしました。

アニメーション映像事業におきましては、劇場版第17弾『名探偵コナン 絶海の探偵(プライベート・アイ)』の配給収入や映像配信などが好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は440億95百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は11億18百万円（前年同期は営業損失7億80百万円）となりました。

当第2四半期に販売を開始したゲームソフトの主要販売タイトル名及び販売本数

タイトル名	販売地域	プラットフォーム	販売本数
Total War: ROME II	欧・米	PC	80万本

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想については、平成25年9月20日に公表のとおり、現段階では修正はございません。業績予想修正の必要がある場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新規設立により、株式会社セガサミー釜山を連結子会社としております。当第2四半期連結会計期間において、清算終了により、セガサミーリゾート有限責任事業組合を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	176,540	110,418
受取手形及び売掛金	63,886	40,264
有価証券	4,260	66,365
商品及び製品	5,931	9,209
仕掛品	12,773	15,719
原材料及び貯蔵品	23,850	19,730
その他	31,713	22,054
貸倒引当金	△386	△293
流動資産合計	318,570	283,468
固定資産		
有形固定資産		
土地	27,229	37,202
その他(純額)	59,830	61,828
有形固定資産合計	87,060	99,030
無形固定資産		
のれん	10,206	9,553
その他	12,706	12,124
無形固定資産合計	22,913	21,678
投資その他の資産		
投資有価証券	72,797	100,668
その他	28,159	25,707
貸倒引当金	△997	△899
投資その他の資産合計	99,960	125,476
固定資産合計	209,933	246,186
資産合計	528,504	529,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,142	28,688
短期借入金	12,867	12,870
未払法人税等	1,494	3,984
引当金	5,455	4,680
資産除去債務	229	191
その他	33,448	21,689
流動負債合計	103,637	72,105
固定負債		
社債	29,500	38,650
長期借入金	44,926	40,259
退職給付引当金	9,277	9,085
役員退職慰労引当金	138	123
資産除去債務	2,165	2,338
その他	18,823	21,998
固定負債合計	104,831	112,455
負債合計	208,469	184,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	119,335	119,327
利益剰余金	198,924	205,171
自己株式	△40,540	△38,951
株主資本合計	307,673	315,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,385	42,680
繰延ヘッジ損益	—	11
土地再評価差額金	△4,705	△4,705
為替換算調整勘定	△14,601	△12,808
その他の包括利益累計額合計	8,078	25,178
新株予約権	1,146	1,057
少数株主持分	3,136	3,358
純資産合計	320,034	345,094
負債純資産合計	528,504	529,654

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	136,583	162,209
売上原価	81,595	97,311
売上総利益	54,988	64,897
販売費及び一般管理費	47,095	52,499
営業利益	7,892	12,398
営業外収益		
受取利息	250	183
受取配当金	402	467
持分法による投資利益	90	—
デリバティブ評価益	22	—
為替差益	—	886
投資事業組合運用益	36	887
その他	478	519
営業外収益合計	1,281	2,944
営業外費用		
支払利息	420	420
持分法による投資損失	—	131
社債発行費	141	64
為替差損	701	—
支払手数料	33	28
その他	581	432
営業外費用合計	1,878	1,076
経常利益	7,295	14,266
特別利益		
固定資産売却益	339	3,576
その他	17	258
特別利益合計	356	3,834
特別損失		
固定資産売却損	0	2
減損損失	253	225
投資有価証券評価損	40	16
不具合対応費用	—	347
その他	5	17
特別損失合計	300	609
税金等調整前四半期純利益	7,351	17,491
法人税、住民税及び事業税	3,256	6,068
法人税等合計	3,256	6,068
少数株主損益調整前四半期純利益	4,094	11,423
少数株主利益	220	75
四半期純利益	3,874	11,348

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主利益	220	75
少数株主損益調整前四半期純利益	4,094	11,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,854	15,293
繰延ヘッジ損益	—	11
為替換算調整勘定	△958	2,072
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△114
その他の包括利益合計	△4,812	17,263
四半期包括利益	△718	28,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△940	28,447
少数株主に係る四半期包括利益	222	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	54,375	18,741	21,712	35,395	130,225	6,358	136,583
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	1,137	0	306	1,714	438	2,152
計	54,644	19,879	21,713	35,702	131,939	6,796	138,736
セグメント利益又は損失(△)	10,406	895	822	△780	11,344	△180	11,163

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	11,344
「その他」の区分の損失	△180
セグメント間取引消去	△37
全社費用(注)	△3,233
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	7,892

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	71,240	18,025	21,963	43,843	155,073	7,135	162,209
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	1,850	8	251	2,207	329	2,537
計	71,338	19,875	21,971	44,095	157,280	7,465	164,746
セグメント利益又は損失(△)	15,176	△8	273	1,118	16,559	△496	16,062

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	16,559
「その他」の区分の損失	△496
セグメント間取引消去	74
全社費用(注)	△3,738
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	12,398

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。